

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：5年 7月 2日

事業所名：放課後等デイサービスめだかミニスクール

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
 評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・体制整備	1		75%	25%	活動によっては、スポーツセンターや体育館で行っている。	73%	19%		8%	活動内容によっては、狭いのでは感じますが、体をたくさん使う内容の時は別の場所で行っていると思うので。	今後も活動や参加人数を考慮して場所を設定していく
	2	75%	25%		人員を増やし、保育士等加配加算を算定している。	85%	4%		12%	専門性をその個々の特徴を見るのは又別のよう感じる。スタッフの人数が少ないとは感じない。	
	3	25%	75%		学習、活動、遊び、それぞれの活動が行えるよう場所を設定したり、仕切りやパーテーションなどを活用	88%			12%	バリアフリー化されているかと聞かれると入り口は入りにくいのでは	
	4	75%	25%		今年度は感染対策を徹底した	96%			4%	いつも清潔感があり、子どもも気が散らず活動できていると思う。	
業務改善	1	50%	50%		月2回職員会を設定し、支援の振り返りや目標設定を行っている						
	2		75%	25%	今後検討したい						
	3	100%			月2~3回オンライン研修を受けている						
適切な支援の提供	1	50%	50%		この1年間で児発管の交代があったため、不十分な点があったが、現在、単独の児発管を配置	96%			4%		
	2	75%	25%		現場指導員からの意見も取入れ、児発管が作成	88%	8%		4%		
	3	75%	25%		活動には全員が参加、はじまりの会、おわりの会を行い、集団での意識をもって活動を行っている。自由時間にはそれぞれ好きな活動を選んでいる。						

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
関係機関との連携 (続き)	3										
	4	25%	75%		学校との連携はあるが、保育所幼稚園等の連携はあまり取れていない。放デイ利用希望が出た際には、発達支援センターでの療育を見学させてもらっている。						
	5	50%	50%		今はその機会がない。今後のため準備をしておく必要はある。						
	6	25%	75%		児童発達支援センターの見学をさせてもらい連携を図った。						
	7	25%	75%		今年度は休日子どもクラブさんとeスポーツ交流や地元高校生のボランティアの受け入れを行った。	31%	8%	8%	54%		
	8	25%	50%	25%	行事等の招待ではないが、地域の方を講師に招いていろいろな活動を取りいれている						
保護者への説明責任・連携支援	1	75%	25%		利用開始前に説明する時間を設けている	88%	8%		4%		
	2	75%		25%		69%	8%		23%		児発管が主になって進めていく
	3		75%	25%	ペアレントトレーニングに関しては取り組めていない。	38%	15%	15%	31%		研修等参加し、スキルアップを図りたい

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4	75%	25%		日頃の様子を送迎等で伝えるようにしている	92%		4%	4%	子どもの成長をよく伝えてくださって成長を感じることができる。	
	5	75%	25%		相談に応じる時間や対応がとれていない現状	65%	12%	8%	15%	面談という機会は、ほぼないように思う。迎えに行ったとき様子を話すという感じだと思う。	要望があった時は速やかに時間を作り、対応に努める
	6	50%	25%	25%	保護者会の開催はしているが、参加者が限られている。	19%	12%	27%	42%	活動の支援をしているかもしれないが、保護者同士の連携はないと思う。	多くの人に参加してもらえるよう、予定や内容を早めに知らせる
	7	75%	25%		苦情は上がっていない	50%			50%		
	8	75%	25%		視覚情報を用いている。写真や実物を提示している。	92%	8%				
	9	100%			年3回程度会報を発行、活動ごとに目的や方法を明記して知らせている。Lineの活用	88%			12%	参加できないプログラムの内容を見ることができたり、子どもの様子も見れたりするので嬉しい。	
10	100%				92%	4%		4%			
非常時等の対応	1	75%	25%		マニュアルは作成しているが、内容に関して周知が不十分なため、徹底していく。	81%	8%	4%	8%		
	2		100%		その日の利用者のみが訓練に参加し、広く訓練はできていない。定期的に訓練が必要。	50%	8%		42%		定期的な避難訓練や消防署の見学、防災食の試食など、計画中

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
非常時等の 対応（続き）	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	100%			職員会を通して、気づきや振り返りの場を設ける。また、研修会等にも積極的に参加している。	/	/	/	/		
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	75%	25%		対象となるような児童はなし	/	/	/	/		
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応				対象児なし	/	/	/	/		
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	100%			ヒヤリハットをすぐ書けるようノートを作成。職員会で振り返り、周知し、再発予防に努める	/	/	/	/		